

# 福島第一原発事故に関わる 周辺住民の避難行動の実態

国会事故調による住民アンケート調査結果を中心に

2012.7.17. 瀬尾和大



60km

30km



外部被ばくの積算線量  
(3月12日6:00から3月24日0:00  
までのSPEEDIによる試算値)

外部被ばくによる実効線量  
日時 = 2011/03/12 08:00 -  
2011/03/24 00:00 の積算値

領域 : 92km X 92km  
核種名 =  $^{131}\text{I}$ ,  $^{132}\text{Cs}$ ,  $^{137}\text{Cs}$ ,  $^{134}\text{Cs}$   
対象年齢 = 成人

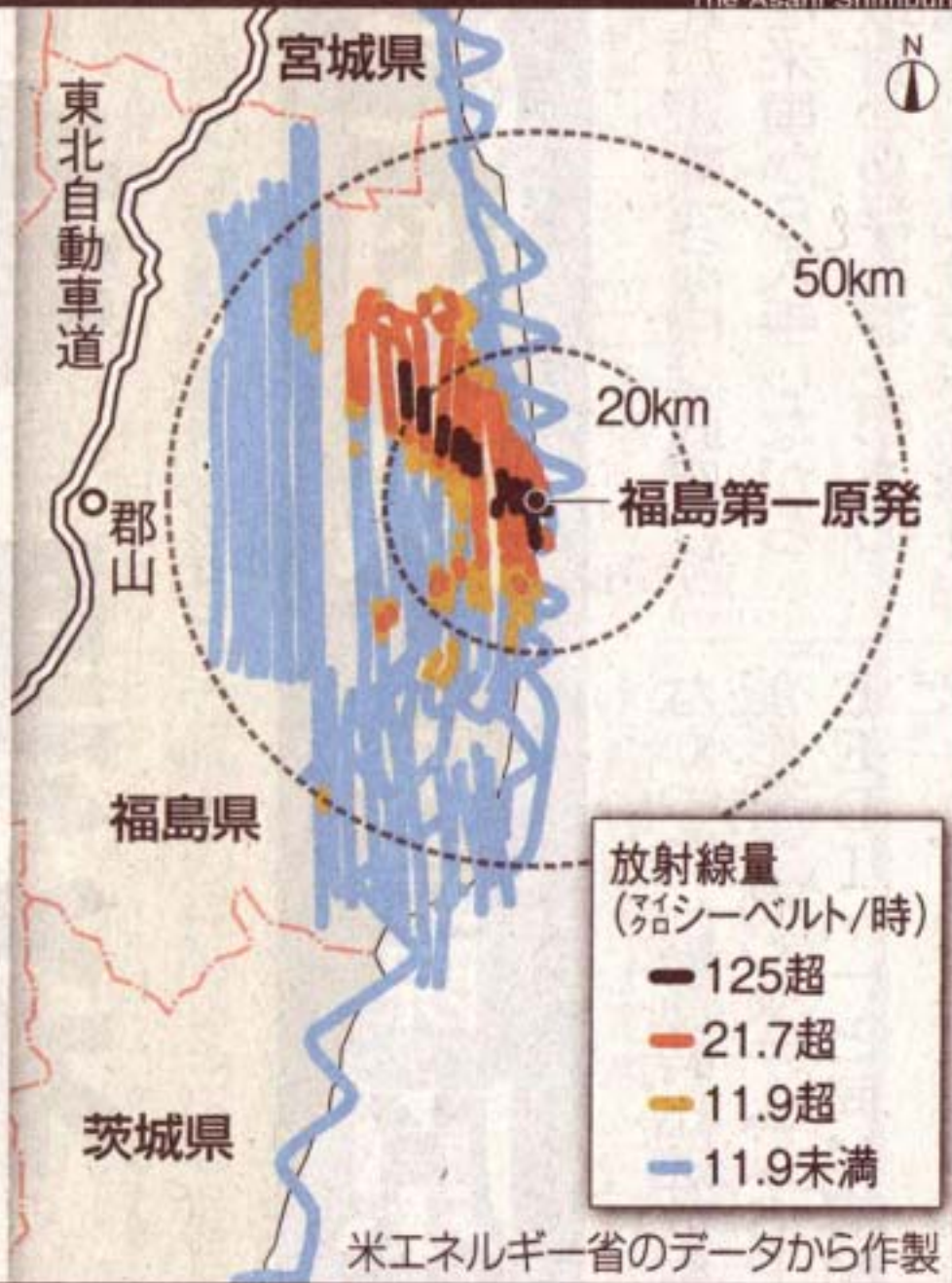
【凡例】  
実効線量等値線 (mSv)  
1= 100  
2= 50  
3= 10 ← 屋内退避レベル  
4= 5  
5= 1

③ SPEEDIの試算データ。3月12日から24日までの積算線量で、原発から北西方向に放射能汚染が広がったことがわかる=第5章第3節(P171)参照

**福島原発事故独立検証  
委員会：調査・検証報  
告書，2012.3.11.**



米エネルギー省が昨年3月に航空機モニタリングした結果

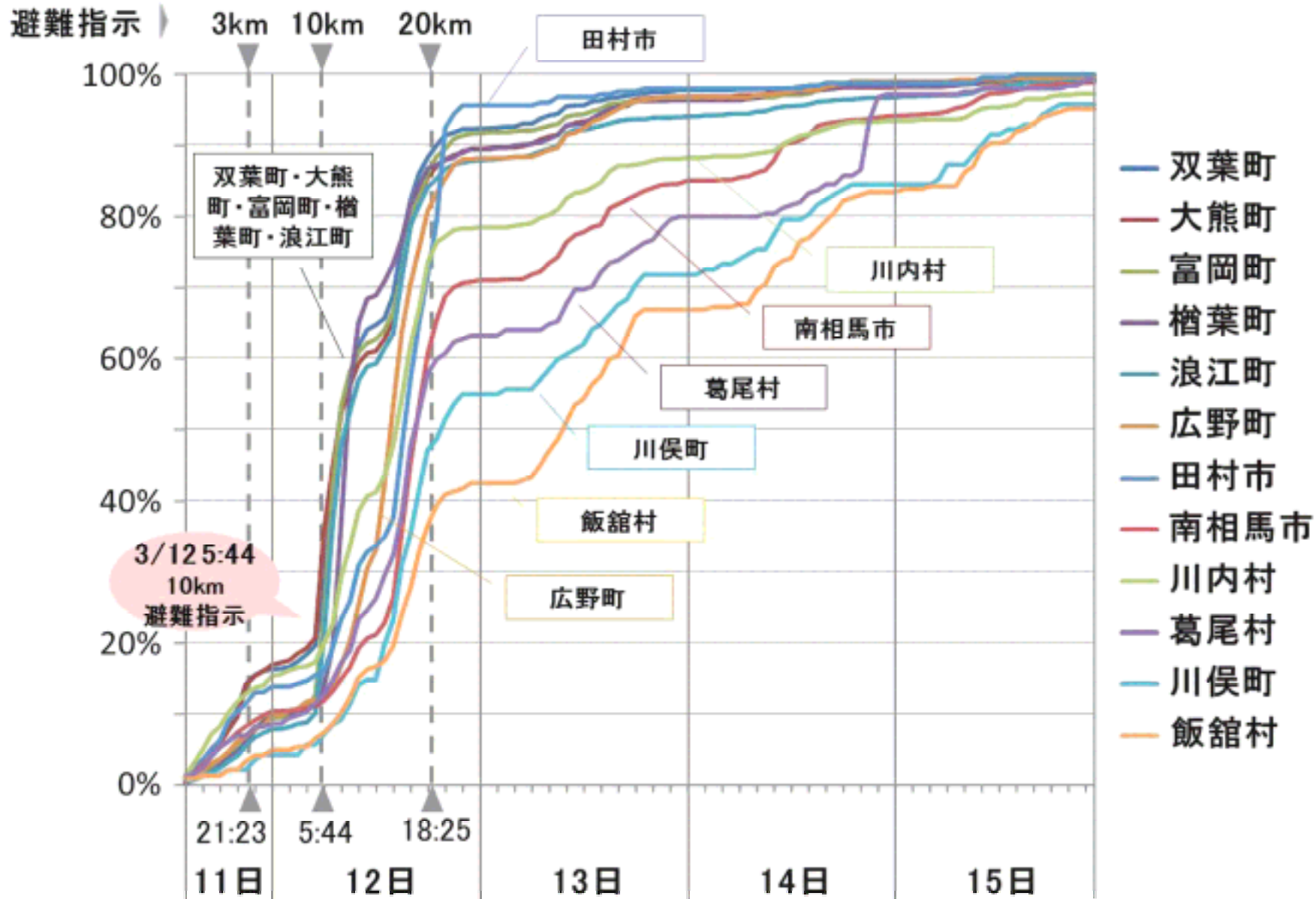


放射線量  
(マイクロシーベルト/時)

- 125超
- 21.7超
- 11.9超
- 11.9未満

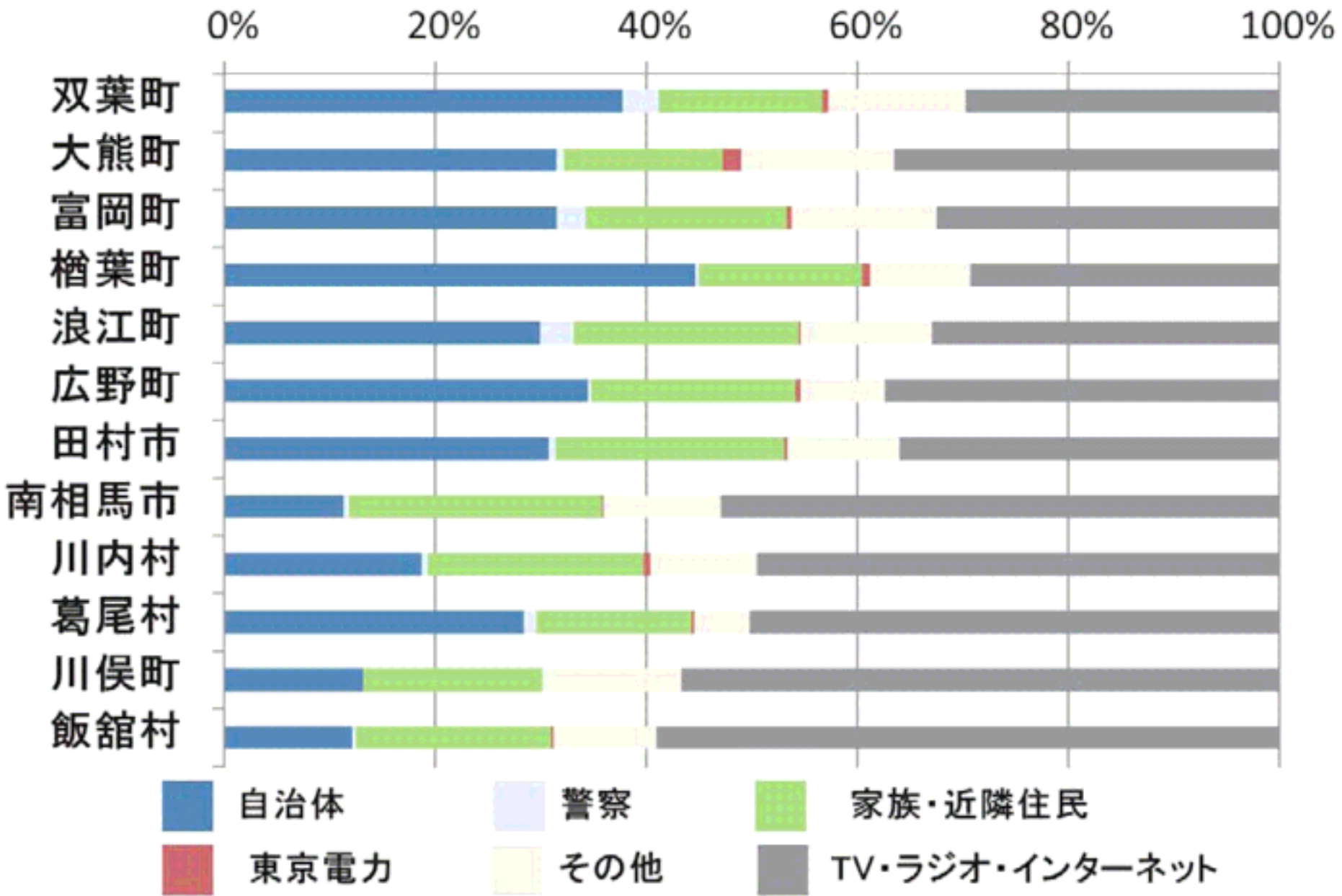
米エネルギー省のデータから作製

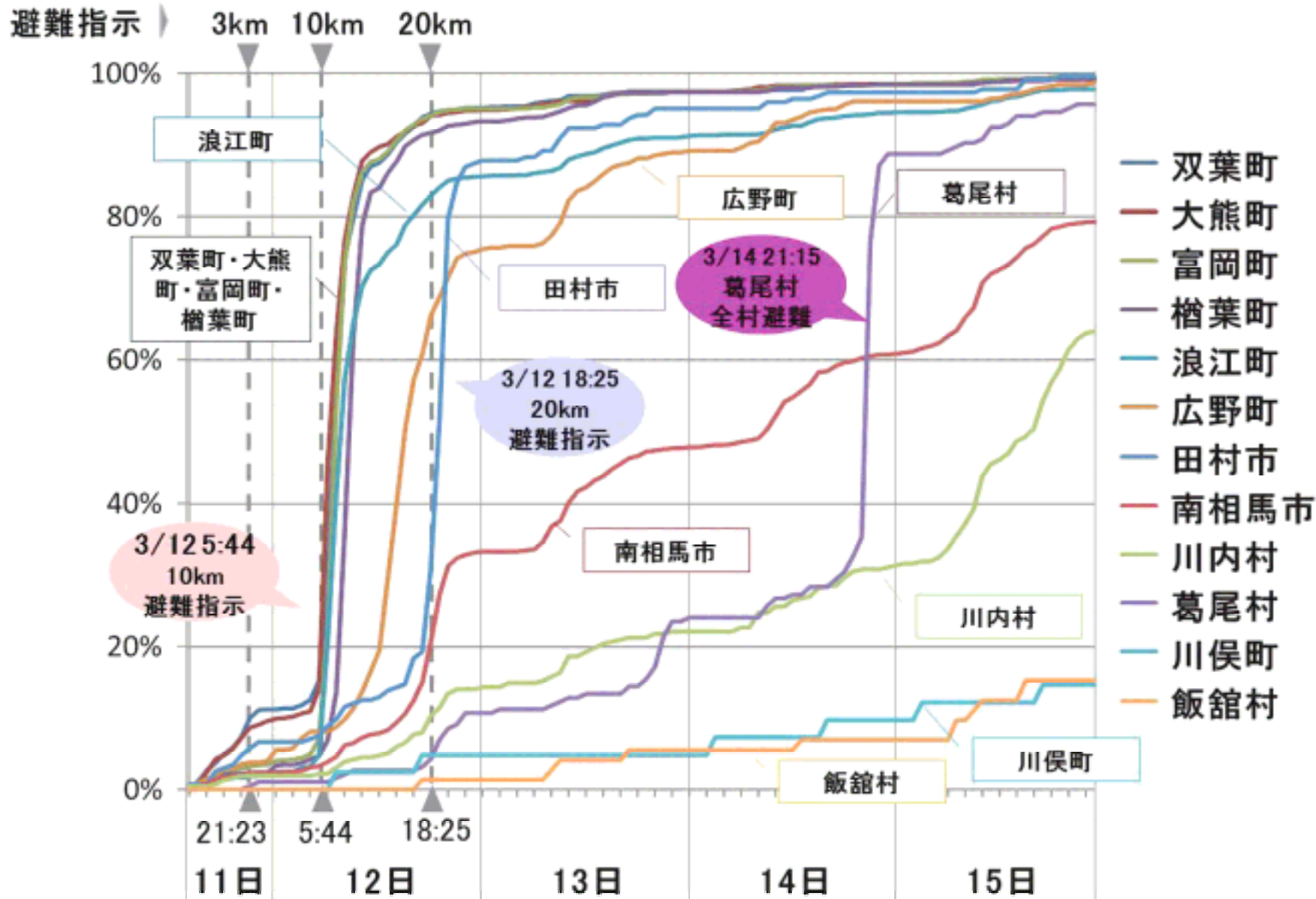
朝日新聞  
2012.6.18.朝刊1面



原発事故を知った住民の割合

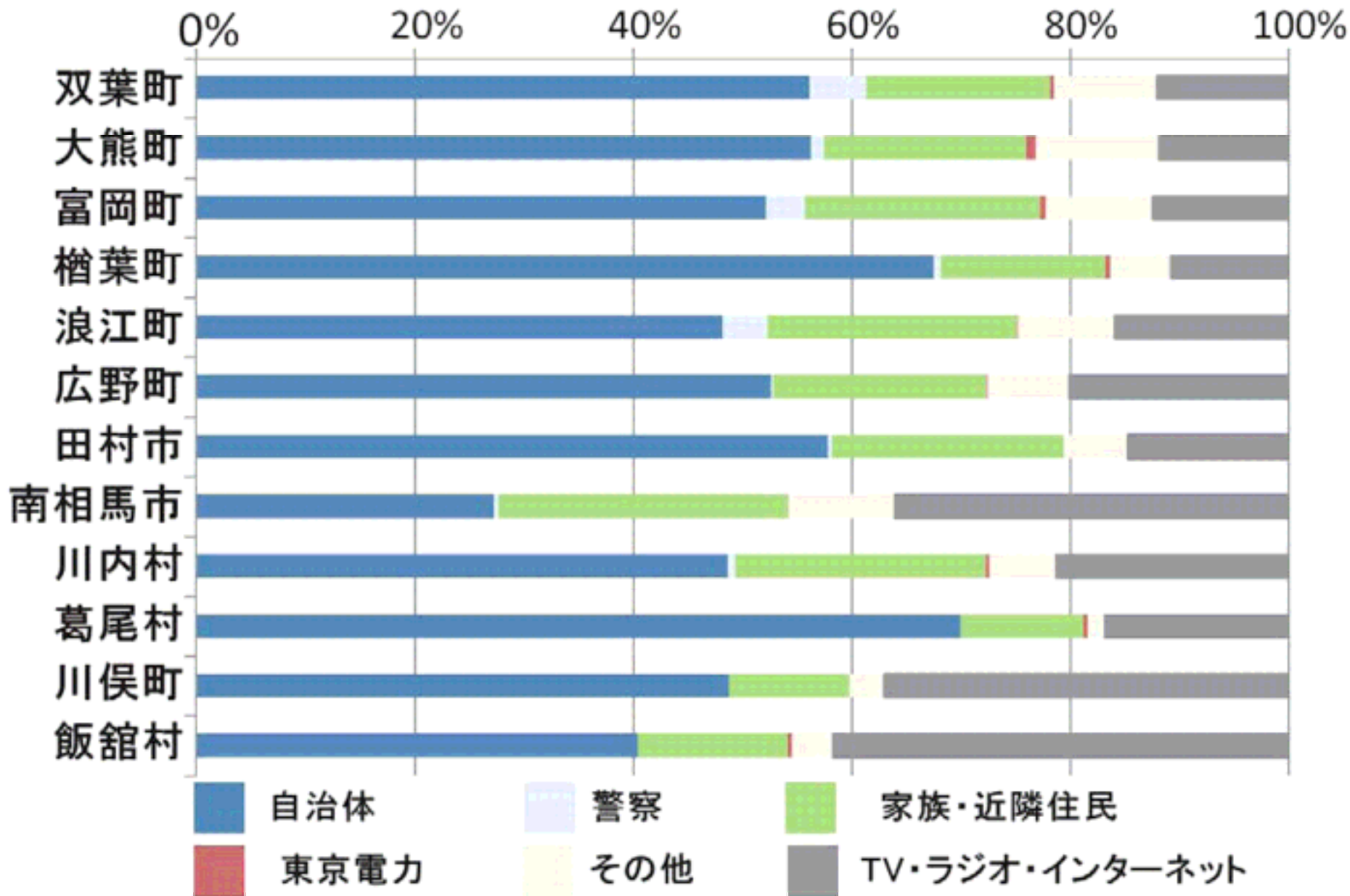
国会事故調参考資料, 2012.7.5.





避難指示を知った住民の割合

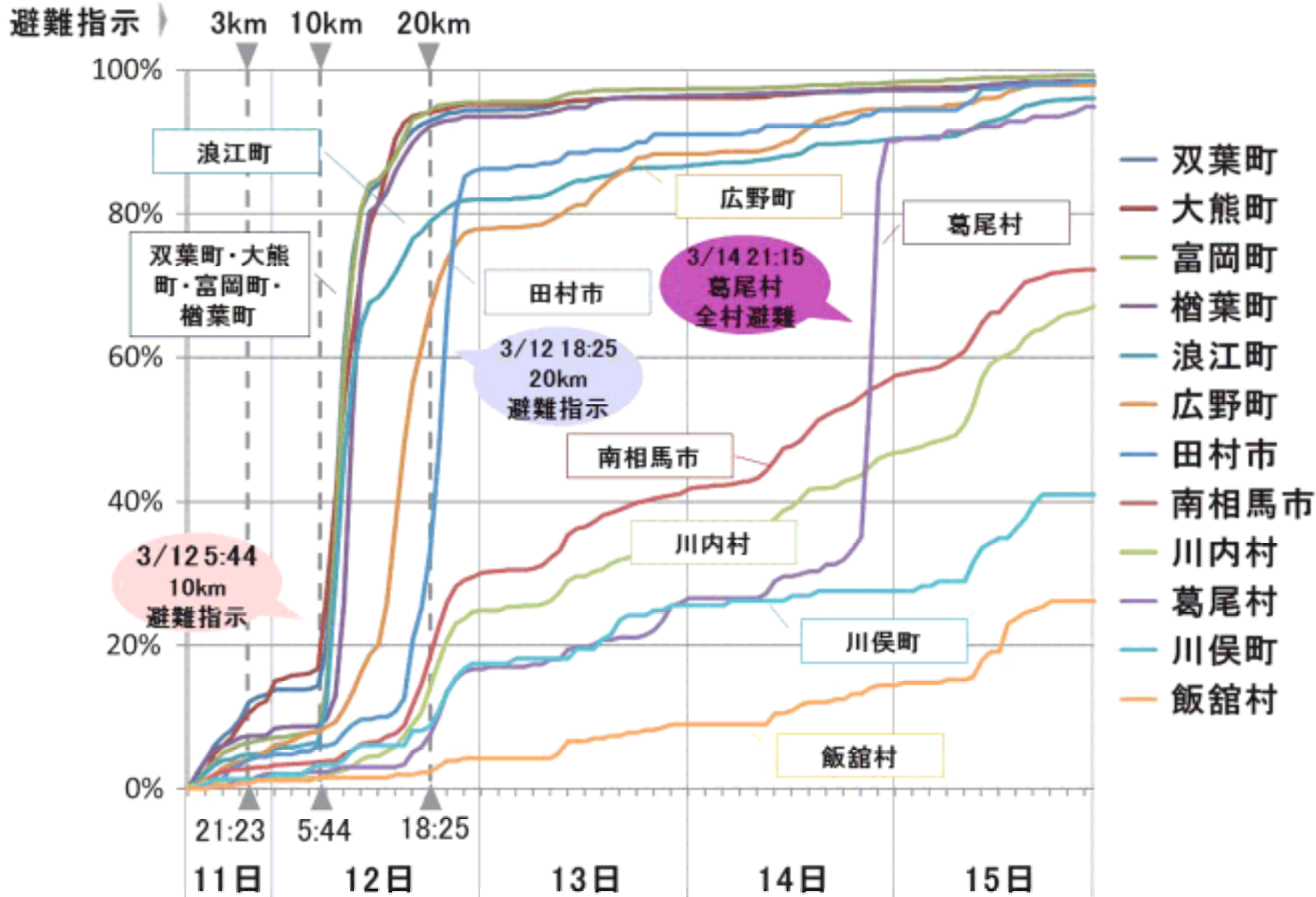
国会事故調参考資料, 2012.7.5.



避難指示の情報源

国会事故調参考資料, 2012.7.5.

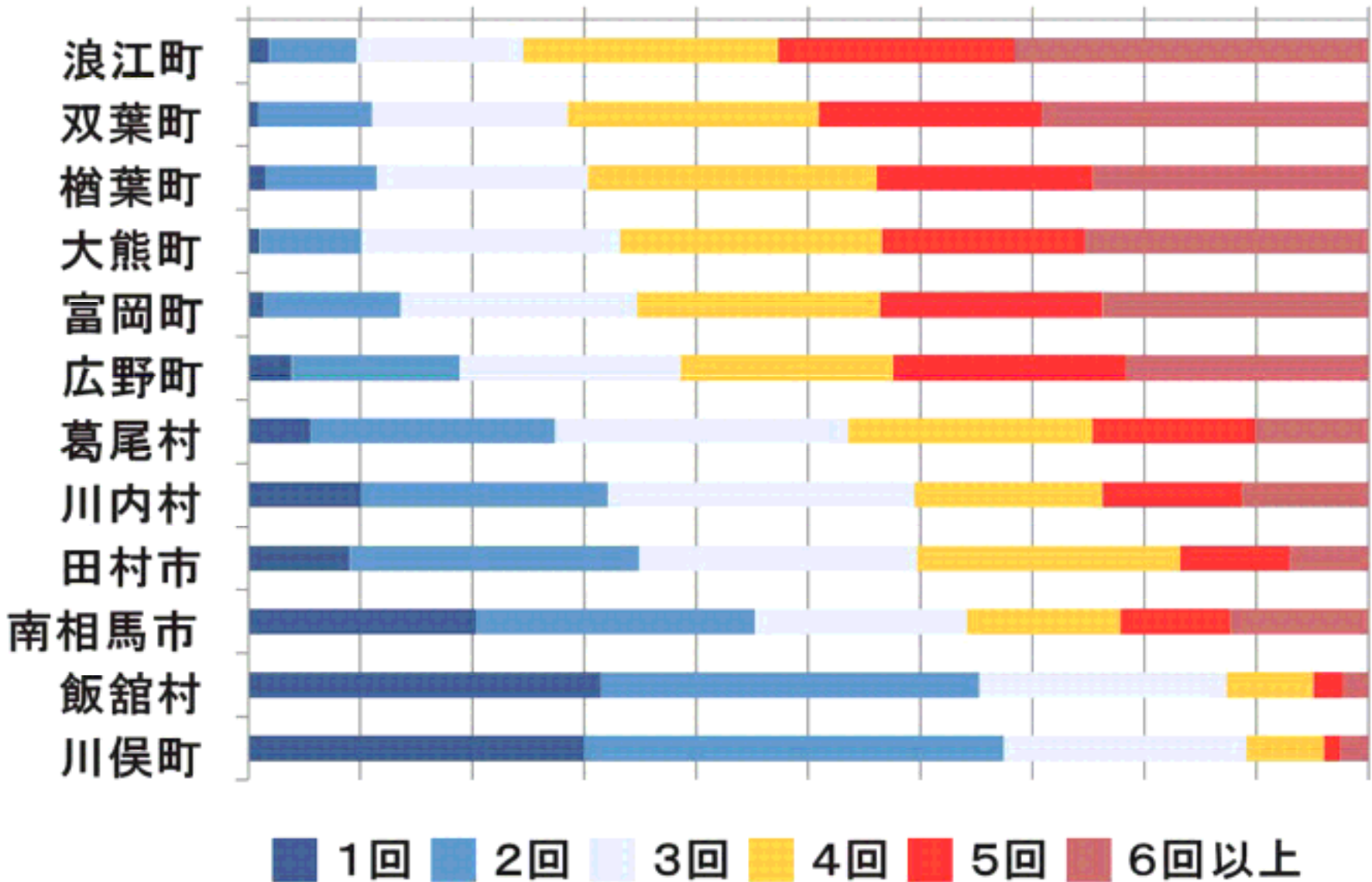




**避難した住民の割合**

国会事故調参考資料，2012.7.5.

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



2012年3月までに住民が避難した回数 国会事故調参考資料 2012.7.5.